

令和3年度

事業報告

特定非営利活動法人 南風会

1. 利用状況 (日平均)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ステップ増穂	50	50	53	51	49	51	52	51	49	48	48	48
ステップ増穂Ⅱ	25	24	25	23	23	24	23	25	24	23	22	22
計	75	74	78	74	72	75	75	76	73	71	70	70

今年度より、ステップ増穂、主たる事業所40人従たる事業所20人から、ステップ増穂とステップ増穂Ⅱをそれぞれの事業所として指定を取り、就労継続支援B型事業所を2事業所として受け入れた。

2. 障害別登録者状況

R3、3月末現在

ステップ増穂

障害名	富士川	市川三	南バス	中央市	身延町	南部町	昭和				計
知的障害	12	4	11	5	5	1					38
精神障害	6		2	3	3						14
身体障害	1	1	3								5
発達障害		1		1							2
計	19	6	16	9	8	1					59

ステップ増穂Ⅱ

障害名	富士川	市川三	南バス	中央市	身延町	南部町	昭和				計
知的障害	5	2	2	2	5		1				17
精神障害	4	1	3		3		2				13
身体障害		1	1								2
発達障害	2	1									3
計	11	5	6	2	8		3				35

3. 就労実績

就職実績 1名 (令和4年1月 ハローワーク鰐沢)

4. 作業

※ 菓子（甘納豆・ゼリー）の袋詰め・シール貼り

利用者：約35名（他の作業班との兼務を含む）

職員：4名

作業は9月末でのまん延防止、緊急事態宣言の解除に伴い、10月以降の地方のお土産商品や季節ごとの商品の受注が前年度に比べ、徐々に増えていった。

前年度は長期休み前・秋冬にかけて増えてきた作業も、今年度は1年を通して甘納豆の大口の注文や、アイネット作業（ギフト）、1日1,000Bの受注が数日みられるなど、コロナ前の作業量に徐々に戻ってきている。

支援では、利用者さんの希望や目標をもとに、それぞれの相性や作業ペースを再確認し、ライン編成・作業提供を行っている。ラインの編成の見直しを行う事によって、メンバーさ

ん同士の良好な関係・正確な作業を持続できている。

【作業量の確保と工夫（環境整備を含む）】

- 企業との密な連絡
 - ・作業をステップに回していただけるように、八雲製菓（株）と密に連絡を取らせていただき、作業をまわしていただいた。
- 他の作業との連携
 - ・繁忙期の作業班への応援や、他の作業（果物ネットやネジ箱の箱折り）作業等で行う事をしながら、作業の確保に努めた。
- 刻印や段ボールの準備
 - ・日中時間内でメンバーさんに刻印の印刷、ダンボールの準備を行なった。

※ 箱折り・封筒の袋入れ 約 11 人

お中元・お歳暮の箱折り作業に取り組んだ。ソーワカートンの箱折り作業に加え、山中産業の箱折り作業にも取り組んだ。仕切の折り、フタ・身の折り、セットの工程を全員で取り組み仕上げることができた。

H26 年よりいただいているマルアイの封筒作業も食堂で取り組んだ。封筒の不良確認をして数を数え、袋に入れて計量、フィルム貼り、No. シール貼り、梱包までの工程を実施。一般的の封筒に加え郵政の 1 枚パックの作業にも取り組む。

八雲製菓の作業量が多い時には、甘納豆、ゼリー、ポンポンの袋詰めの計量、シーラー、シール貼りをも行い、柔軟な対応をすることができた。

座り作業で、静かな環境で作業することができた。

今後も箱折り作業を中心にいくつかの作業を取り入れ、バランスを取りながら進めいく。

ステップ増穂Ⅱ 定員 30 名

※ダンボール作業

現在 3 か所の事業所から作業を受託している。

各事業所で受託量のばらつきはあるが全体量とすると過剰状態にはならず取り組むことができている。

協和パッケージの作業。

バリ取り、組み立て、貼り付けの工程、段ボール製品の袋詰め等を行っている。

バリを取る工程、抜きの工程、貼りの工程と複数の工程を各パートに分け作業を行っている。ズレや剥がれが不良となってしまうため丁寧な作業が求められるが工程が分かりやすく皆が関わりやすい作業となっているため多くの方が関わることができている。

2022 年度はコロナの影響を受けることなく注文数が多く、納品を間に合わせることに苦労する一年となった。

土橋段ボールの作業（組仕切り）。

アルコール飲料を段ボールで出荷する際に使われる仕切りの作成を行っている。2022 年度

は新たな組仕切りの注文も入り通年通して安定して作業がある。

誰もがわかりやすく取り組みやすい作業である点で人を選ばず作業ができている。定期で入ってくる作業とは別に単発の作業も豊富にあるため他の作業が減ってきた場合の補充として作業を取り入れることが可能となっている。

豊玉紙器の作業

自動車部品に使われる組仕切りが中心。ウレタンの貼りなどを含め 3 種類ほどの作業を受託している。

分かりやすく扱いやすい物なので負担なく作業ができている。

2022 年度は半導体の影響で注文のキャンセルや注文数の減少が見られたが余裕をもって材料を提供していただける点などで負担なく取り組むことができている。

※ 箱（中元・歳暮用）作り

ソーワカートンの中元・お歳暮用の箱作り（箱折り）を、4月～6月・9月～11月の期間限定の作業として、Ⅲとマルアイ作業班を中心に取り組んだ。折りやすい中敷きの部分と、要領とコツが必要な外箱を折るメンバーを分けて、短期集中で取り組んだ。

作った箱は、百貨店に並び、贈り物として使われるということを常に意識しています。また、「良い箱を作り、お客様のもとへ」をスローガンに掲げ、箱への傷、へこみ、変色、仕切りの入れ忘れはないかを常に意識しながら、良品を出荷することを常に考え作業を行った。

【施設外就労】

一般の企業・事業所で作業に取り組むことで、施設の中ではできない体験を通して、仕事についての学習や就労意欲の向上や工賃アップなどを目的として取り組んだ。

※ まほらの湯・町福祉課・社会福祉協議会の清掃 約 8 人

まほらの湯（月・木・金）9 人 町福祉課（火）3 人 社協（木）3 人

一般企業の中での作業と学習を行う。

5. 工 賃

何とか自力で生活を！ をめざし工賃アップに取り組んだ。

(円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R2	R3
工賃	190	195	197	198	205	214	229

6. 研 修

新型コロナウイルス感染症予防対策 10月30日 遠藤

他、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止

7. 行事・レクレーション（クラブ）

※作業班別食事会

※日帰り旅行

※一泊旅行

※新年会

※クラブ活動

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため全て中止とした。

8. 送迎

身延コース	身延・六郷・鰐沢	8名
六郷コース	身延・久那土・市川	8名
豊富コース	中央・豊富	7名
市川コース	市川・富士川	6名
白根コース	白根・南プロ	6名
昭和コース	昭和・南プロ	8名
近隣コース	富士川町内 3便	11名 計54名

9. 健康診断

富士川病院は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、集団での健康診断の受付を行なわないため、利用者さんの健診はそれぞれの地域で受けた。

職員の健診は新型コロナウイルス感染拡大の関係で例年の健診予約が取れず、実施できなかった。

10. 苦情解決

利用者間のトラブルがあったがその場で解決出来、苦情の申し出は0件、定期的の聞き取りを実施した。

11. 支援学校等体験実習

養護学校生徒の、仕事の体験と卒業後の進路を決める一助として、実習の場として受け入れた。

わかば支援学校	1期	9月	10日～	9月	29日	3名
	2期	12月	7日～	12月	11日	3名

12. 防災

避難訓練を	9月	24日
	3月	29日 2回実施

※グループホーム

新規の利用希望があり、サテライト型（1名）ユニット型（3名）の設置を行った。
それぞれの生活に合わせて世話人、生活支援員のサポートを受け生活の組立てを行っている。

年々高齢化が進み、今後の課題としては日中活動の確保、生活の安定、医療面との連携等、

いろいろな機関とのつながりを考えていく必要がある。

10月31日避難訓練実施。

13. 総 括

- ・この1年も新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年であった。通所時の検温、マスク着用、手洗いの徹底、休憩時や食事時の距離間隔等、また、休日の外出を控えるようお願いをするなど、昨年からと同様な対応を継続した。また、感染防止の観点から、人が集まるクラブ活動や食事会、旅行、健診等はすべて中止とし、職員の研修もほとんどが中止となった。
令和3年4月にはステップ増穂40名・ステップ増穂Ⅱ20名の2事業所として、それぞれが独立した事業所としてスタートした1年であった。
- ・個別支援計画を基に個々の利用者の目的・目標また課題等を職員間において共有し、日々の作業を通して支援に取り組んだ。
- ・各作業班ごとのケース会議を開催して3年目、課題や成果の明確化や、より具体的な支援が行えるように取り組み情報の共有が図れたが、作業量の関係で毎月は開催できなかつた。
- ・作業選択として選べる環境を提供でき、箱折り等スポットでの作業には、班にこだわらず柔軟な受け入れや対応ができた。
- ・日中一時のサービスを市町村と契約して、移行や就労継続支援以外の形での受け入れを行い、地域の資源として役割を担った。